

# 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



## 活用事例



概要	
学校名	木更津市立岩根中学校
活用方法	四つの過程を意識した授業を積極的に展開し、相互授業参観や研究授業を行う。授業後の協議会では、リフレクションを通して互いに改善案を出し合うなどして教師一人一人の指導力の向上を図る。
成果等	通年いつでもどの授業を参観してもよい体制づくりを行い、相互授業参観を行った結果、学校全体で授業改善に向けての意識が高まった。また、互いに改善策を出し合ったことから若年層の授業力向上につながった。

### 【授業風景】



### 【改善方策】

#### ①基礎学力の定着

- ・ 本時の学習課題の明確化
- ・ 学習内容の振り返り、まとめ、アウトプット

#### ②主体的な学習への取り組み

- ・ ノート1ページの自主学习

### 【検証方法】

- ・ 自主学习では毎日ノートを回収し、学級担任を中心に学年職員で点検する。
- ・ 課題掲示や授業の反省・振り返り等を授業ごとに行う。
- ・ 参考資料や写真等でわかりやすく掲示する。

(ユニバーサルデザイン)

### 【相互授業】

- ・ 意欲的に参加し、いろいろな方策を見て学び、指導力の向上に繋げている。
  - ・ 通年いつでもどの授業を参観してもいいように、教師間の雰囲気づくりを行っている。
- ◎生徒による授業評価を行い、本校の課題である授業改善に繋げている。